

日本ユニシス

観光・エンタメプラットフォーム「FESTRAVEL™」提供に向けた協業を開始
～ 第一弾として米スタートアップ Airbuy Inc.と協業し、購買・行動履歴をもとに、
インバウンド観光客に最適なレコメンドを実現。
それぞれの嗜好に合うコンテンツの提供で地域活性化を支援 ～

日本ユニシスは、インバウンド観光客向けのサービスを集約し、インバウンド&地域活性化を支援する観光・エンタメプラットフォーム「FESTRAVEL」の提供を、来春より開始します。

「FESTRAVEL」は、日本ユニシスが提供してきたインバウンド観光客向けサービス（ポータルサービス、電子バウチャーサービス、デジタル周遊パス、スマホ決済サービス、エンターテイメント関連サービスなど）のノウハウを集約し、AIやデータ分析など新たなテクノロジーをかけた新たなプラットフォームです。日本ユニシスのデータ+AIサービス Rinza®と、Airbuy社が開発したAIエンジンを利用して、訪日外国人観光客それぞれの嗜好に合うコンテンツの提供を実現します。

日本ユニシスは、今後増加するインバウンド観光客と地域・観光地が持つ魅力と商品をつなぎ合わせることで、地域活性化を支援していきます。



【背景】

2017年のインバウンド消費額は4.4兆円を超え、個人旅行の増加、スマートフォンの活用など、旅行スタイルにも変化が出てきています。観光庁の「平成29年訪日外国人消費動向調査」でも、訪日外国人観光客の61.4%が訪日回数2回目以上のリピーターであり、リピート数は大きく増加していることが分かっています。リピート数の増加により、地方を訪れる割合が高くなり、温泉・スポーツなどの体験型観光（コト消費）を求める傾向にあります。

このような状況下で、地方自治体・観光事業者などは、地域活性化につながるインバウンド観光客の集客に力を入れており、ICTを活用した観光案内やネット予約、スマホ決済などインバウンド観光客に向けたさまざまなサービスの整備が進められています。

【観光・エンタメプラットフォーム「FESTRAVEL」とは】

「FESTRAVEL」は、日本ユニシスが提供してきた、訪日外国人向けサイト「SamuraiTrip®」、スマホを活用した観光地での「デジタル周遊パス」、飲食店での「多言語接客ナビ」などのインバウンドサービスを集約し、AIやデータ分析技術を活用したマーケティング機能を連動させることで、日本を訪れるインバウンド観光客に地域の魅力を提供するプラットフォームです。

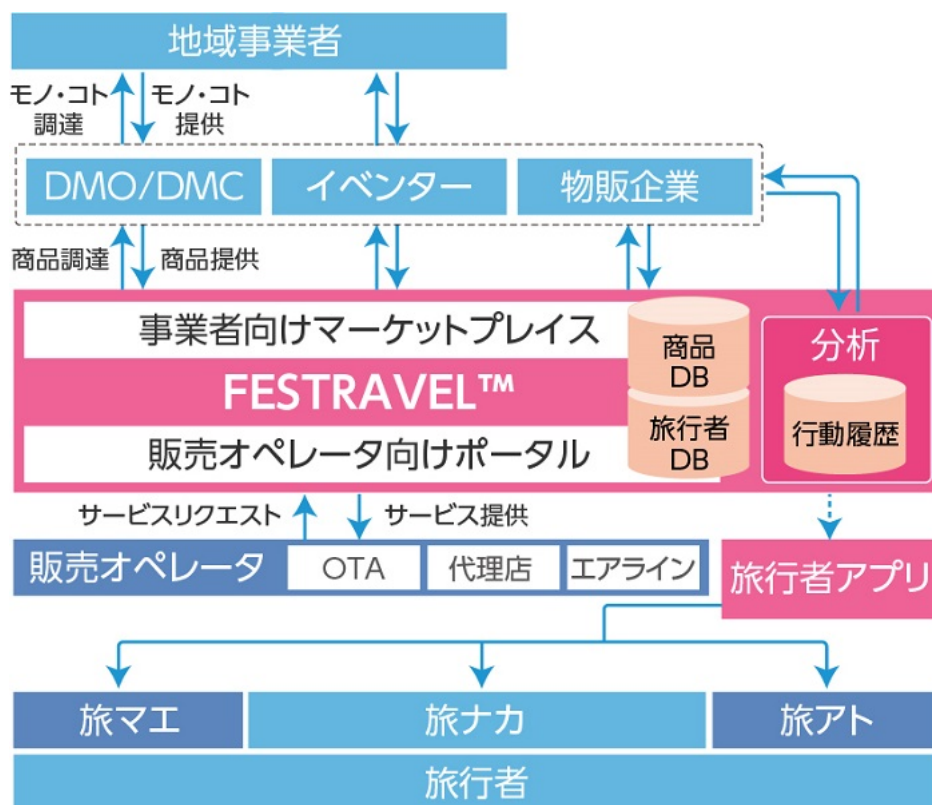
「FESTRAVEL」には、旅行商材を提供する企業・団体（地域連携DMO・ローカルDMC）、地域で催事を企画・運営するイベント運営会社やエンターテイメント関連企業（イベンター）、旅行者への物販サービス

を提供する小売業（物販企業）、旅行者にさまざまな情報を提供するため旅行会社（販売オペレーター）などが、パートナーとして参加します。すでに、「TOKYO-NARITA JAPAN EXPLORER(成田国際空港)」、地域連携 DMO「麒麟のまち観光局」、「会津喜多方グローバル倶楽部」の参加が決定しています。テクノロジーパートナーとして AirBuy 社と連携し、今後はナビゲーション機能を持つ「ナビタイムジャパン」との連携が予定されています。

このプラットフォームを中心に、パートナーとともに、観光に関わる良質なサービス（楽しさ、快適、安心・安全、お得）に加え、地域のこだわり商材や、スポーツやエンターテインメント、特産品販売など「コト商材」と「モノ商材」を、旅行者に「旅マエ」の段階から「旅アト」まで、タイムリーな情報提供を実現します。

また旅行者用のスマホアプリも公開し、スケジュールやガイド機能など「旅ナカ」で旅行者をサポートするサービスの提供も行います。

■観光・エンタメプラットフォーム「FESTRAVEL」イメージ図



【Airbuy. Inc とは】

MIT (Massachusetts Institute of Technology) で設立され、空港、旅行小売業者、航空会社、OTA (Online Travel Agent) の収入と顧客サービスを最適化する、免税、旅行小売、付随サービスのための B to B プラットフォームを提供するスタートアップです。

Airbuy 社は、エミレーツ航空とドバイ免税店、バンガロール、チャンギ空港などの情報をつなぐプラットフォームを開発しており、中国、日本、インドの実証実験プロジェクトに着手していく予定です。

【今後の展開】

日本ユニシスグループは、中期経営計画「Foresight in sight® 2020」の重点施策として注力領域の選択と集中を掲げており、その注力領域のひとつとして「スマートタウン」を選定しています。人口減少・高齢化・過疎化などの地域毎の課題の深刻化に対し、エネルギー・交通・健康・観光などのサービス提供企業と当社グループのサービスを連携させ、生活者・来訪者に共感されるサービスの創出を目指しています。

日本ユニシスは、観光・エンタメプラットフォーム「FESTRAVEL」の提供において、地域連携 DMO、ローカル DMC や地域産業、インバウンド観光客向けの商品・サービスを持つ企業のサービスを連携し、そこで得られるデータを利活用することで、観光産業を通じて地域社会の活性化に貢献していきます。

以上

■ TOKYO-NARITA JAPAN EXPLORER(成田国際空港株式会社)

成田国際空港からアクセスできる観光地情報（成田空港周辺、首都圏とその周辺、成田発着国内線(主にLCC)や高速バス（主に Air&Bus）でつながっている観光地）を提供するポータルサイトです。インバウンド旅行者向けサービスとして文化・自然・食・アクティビティなどの分野別の情報をバランス良く配置しています。

■ナビタイムジャパン

ナビタイムジャパンは、トータルナビゲーションサービス「NAVITIME」をはじめとする各種ナビゲーションサービス等の開発・提供を行っています。

インバウンド旅行者向けにも観光アプリを提供しており、そこから得られたインバウンド観光 GPS データの分析、企業・自治体との連携による地方誘客にも取り組んでいます。

■一般社団法人麒麟(きりん)のまち観光局

鳥取県東部・兵庫県北西部圏域(鳥取県鳥取市、岩美町・若桜町・智頭町・八頭町、兵庫県新温泉町・香美町)の観光客受入環境整備や国内外に対する広告宣伝、ならびに観光客誘致を推進する日本版 DMO です。この地域は、民俗文化財「麒麟獅子舞」が伝播しているなど、文化圏を共有しているエリアであり、「麒麟のまち」圏域として観光や移住定住をはじめとした様々な分野で連携し、魅力あるまちづくりに取り組んでいます。

■株式会社社会津喜多方グローバル倶楽部

喜多方市で、異業種 5 社（お菓子屋・農家・味噌屋・麺屋・酒蔵元）が集まり、世界 90 カ国に喜多方ラーメンを広げる活動をしています。

喜多方ラーメンの輸出、情報館運営による喜多方の特産品、店舗の情報発信やインバウンドの受入れを整備し、喜多方の魅力を伝え喜多方の活性化に寄与する取り組みを展開しています。

■「FESTRAVEL」命名の由来

FEST(にぎやかな、祭り) + TRAVEL。お祭りの様に楽しく日本を過ごす・周遊するイメージです。

■関連 URL

観光・エンタメプラットフォーム「FESTRAVEL」

<https://www.unisys.co.jp/solution/biz/regional-revitalization>

「社会課題を解決するデータ+AI Rinza」

<https://www.unisys.co.jp/solution/biz/ai/>

「Airbuy.Inc」 <https://www.airbuyinc.com/>

「TOKYO-NARITA JAPAN EXPLORER」 <https://en.tokyonarita.jp/>

「一般社団法人麒麟(きりん)のまち観光局」 <https://www.tottori-inaba.jp/kirin/>

「株式会社社会津喜多方グローバル倶楽部」 <https://www.facebook.com/kitakata.ichibanboshi/>

「ナビタイムジャパン」 <https://corporate.navitime.co.jp/>

※FESTRAVEL、Rinza、Samurai Trip、WaviSaviNavi、Myboo、Foresight in sight は、日本ユニシス株式会社の商標または登録商標です。

※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載のニュースリリース情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。